

兵庫県のカミキリムシ類 (第1報)*

高橋 寿郎

Cerambycid-Beetles of Hyōgō Prefecture (I)

by Tosio Takahasi

カミキリムシ (Cerambycidae) は天牛とも呼ばれハムシ (Chrysomelidae)、マメゾウムシ (Bruchidae) の両科と共に鞘翅目 (甲虫類) 中の食葉類という一群をつくつている。広く世界に分布し20,000種位が知られており、日本産も500種近くも産する。幼虫は鉄砲虫とも云われ農林業の大害虫として知られている。

兵庫県産のカミキリムシ相に就いては古く日本のカミキリ相の画期的研究 Bates氏のそれにも可成りの種がふくまれている。即ち1873年には“On the Longicorn Coleoptera of Japan (Ann. Mag. Nat. Hist., 4, XII, pp. 148~156, 193~201, 308~318, 380~390)”の表題の下に神戸並びに兵庫産は28種、次いで1884年再び“Longicorn Beetle of Japan, Addition, chiefly from the later Collections of Mr. George Lewis; and notes on the Synonymy. and Habits of the Previously Known Species (Journ. Linn. Soc. London Zool. XVIII, pp. 203~262)”の表題の下に5種が記録された。その後兵庫県のカミキリ相としては1941年関公一氏に依り“兵庫県産の天牛科甲虫 (昆虫界, IX, 89, pp. 447~456)”が発表される迄は同氏の“御影付近の天牛 (東神戸全般)”として約60種記録されたものがあるのみでその他は全く断片的或いは兵庫県の一部をも含めた京阪神のカミキリ相があるのみである——“竹内吉蔵・京阪神の天牛相 (関西昆虫学会々報, No. 3, 1932)”“関公一・京阪神を中心とした天牛相 (昆虫異, III, 18/19, pp. 369~378, 1935)”——関氏の“兵庫県産の天牛科甲虫”は“兵庫県昆虫相の研究, 1”として発表されたもので100種記録されているがその後カミキリムシ科全般の研究も進歩しており調査も広範囲に汎り特に最近では山本義丸氏の“氷上郡産昆虫目録” (1958) の中に83種、同氏並びに高橋匡氏等を中心とした氷の山中心の調査 (柏原高校生研機関誌, Natura 各号参照) 等で相当多くの種が県下から知られており、筆者も機会ある毎に各地を調査し可成りの結果がまとまつたので一応今日迄の知見を集めて県下産カミキリムシ相をまとめて発表する事にした、可成り多くの種を含むので2回にわけて発表したい。

末筆乍ら本文を草するに就いては多くの方から資料の提供を得ている一々御芳名は記さないが厚く御礼申し上げる。

* 兵庫県甲虫相資料, 16.

** 産地名は筆者の所有標本のものであり、筆者未採集で記録あるものは記録署名を括弧内に記しておいた。

Family Cerambycidae カミキリ科

Subfamily Prioninae のこぎりかみきり亜科

1. *Eurypoda batesi* Gahan ベーツヒラタカミキリ
やや南方系のカミキリ、四国土佐地方、九州では多い様である。分布北限は茨城県との事、県下の記録は関氏の神戸裏山産と云うのが知られているのみである。
(産地) 神戸裏山〔関、1938〕* *
(分布) 日本 (本州、四国、九州)、琉球、西南支那、トンキン。
2. *Megopis sinica sinica* White ウ斯巴カミキリ
幼虫は雑食性でポプラ、ニセアカシア、イチジク、リンゴ、キリ、ヤナギ類、カバ類、ブナノキ、カシワ、アカメガシワ、トネリコ、ヤチダモ等広葉樹の老壮木、モミ、トドマツ類の針葉樹の枯死、腐朽木に寄生する。
(産地) 神戸市御影〔関、1933, 1941〕、宝塚市〔VIII—1936, 林、1955〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山〔高橋、1959〕。
(分布) 日本 (北海道、本州、四国、九州)、小笠原、朝鮮、琉球、台湾、支那、ビルマ。
3. *Prionus sejunctus* Hayashi ニセノコギリカミキリ
従来ノコギリカミキリとして同定されていたものの内西南日本に産するもの多くは異つた種であるとして林氏が新に命名された種である (Entom. Rev. Japan, X, I, p. 4, 1959)、原記載並びに林氏に依る両者の比較を見ると当地北に産するものは大部分がニセノコギリカミキリでないかと云う感じがするが実物を見ないので判定しにくい。従つて従来の記録は一応保留としておき筆者の手持標本のみを記録しておく、なお真のノコギリカミキリも県下には産する。
(産地) 神戸市摩耶山 (1 Ex., 21—VII—1955)、鳥原 (1 Ex., 12—VII—1958)、山の街 (1 Ex., 3—VII—1955)、美方郡関宮町福定 (1 Ex., 2—VIII—1953)
(分布) 日本全土、朝鮮、東北支那、東南シベリヤ。
4. *P. insularis* Motschulsky ノコギリカミキリ
(産地) 養父郡氷の山 (1 ♀, 12—VII—1955)
(分布) 日本 (本州、四国、九州)、屋久島。
5. *Psephactus remiger* Harold コバネカミキリ
稀な種である。関氏の記録には産地が明記されていない。
(産地) 兵庫〔関、1941〕、養父郡氷の山〔高橋、1959〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、台湾。

Subfamily Disteniinae ほそかみきり亜科

6. *Distenia gracilis* Blessig ホソカミキリ

個体数はそう多くないが広く分布して産する。幼虫はトドマツ、アカマツ、クスギ、シナノキ等の腐朽木に寄生する。

兵庫は古く Bates 氏により *Distenia japonica* として記録されている。

(産地) 兵庫〔Bates, 1873〕、神戸市摩耶山〔関、1941〕、洲本先山〔23-VII-1947, 堀田、1958〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山(山本、1954, 1 Ex., 12-VII-1955)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、南千島、樺太、朝鮮、東北支那、アムール。

Subfamily Aseminae まるくびかみきり亜科

7. *Nothorhina punctata* Fabricius ケブカヒラタカミキリ

幼虫はマツ類の樹皮下に寄生する。極めて稀な種である様思われる。県下での記録は林氏のを知るのみである。

(産地) 神戸〔林、1955〕

(分布) 日本(本州)、欧州、シベリヤ、シリヤ、西南ヒマラヤ。

8. *Arhopalus rusticus* Linné サビカミキリ

針葉樹の腐朽木や切株に寄生する。前背板には中央縦溝とその両側にはカツコウ状の小さな凹みをもつ、灯火に飛来する。

(産地) 神戸市摩耶山(1 Ex., 21-VII-1955)、鳥原(1 Ex., 23-VIII-1952)、山の街(1 Ex., 4-VII-1954)、氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、朝鮮、満州、中支那、蒙古。

9. *A. unicolor* Gahan ツシマムナクボカミキリ

触角の第1節端は複眼後縁にやつと達し、前背板は皺状でなく、前胸腹板は前方に急傾斜する。少い種であると思われる。

(産地) 朝来郡生野(1 Ex., 8-VII-1956)、氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、対馬、中支那、アッサム。

10. *Spondylis buprestoides* Linné クロカミキリ

普通種である。

(産地) 神戸市御影町、住吉〔関、1933, 1941〕、摩耶山(2 Exs., 27-VII-1955)、鳥原(1 Ex., 6-VII-1952, 1 Ex., 26-VII-1953)、金剛童子山(1 Ex., 24-VI-1956)、洲本市安乎〔23-VII-1947, 10-VIII-1951〕、先山〔8-VIII-1947, 堀田、1958〕、氷上郡〔山本、19

58〕、朝来郡生野(4 Exs., 8-VII-1956)、養父郡氷の山(1 Ex., 25-VII-1955)。

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、旧北地方全域。

Subfamily Leptuinae はなかみきり亜科

11. *Lemula decipiens* Bates キバネニセハムシハナカミキリ

Lemula 属は一般に小さく且つハムシ科の *Lemna* 属のものに似ており、亦その発生乃至活動期が他のものに比し早い点あまり一般に注意をひいていないと考えられる仲間である。現在日本産は4種知られているのみである。本種には翅鞘色彩の変化も可成り有る様であるが現在の所大体黄褐色のもののみを採集しているにすぎない。関氏は腹部色彩の変わったものを記していられる。

本属中一番普通にいる種と考えられる。

(産地) 神戸六甲山麓〔関、1944〕、六甲山、摩耶山〔柴内、中畔、1950〕、山の街(1 ♀, 5-V-1955)、谷上(7 Exs., 3-V-1957, 2 Exs., 29-IV-1958)、氷上郡神楽〔4-V-1957, 山本、1958〕、養父郡氷の山(1 ♀, 24-VII-1955, 1 ♂, 27-VII-1956)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、東シベリヤ。

12. *L. nishimurai* Seki アカイロニセハムシハナカミキリ

扇の山に産するとの事である(新しい昆虫採集、下、p. 298, 1959)

(産地) 美方郡扇の山

(分布) 日本(本州)

13. *Ac. aeops minuta* Gebler ヒナルリハナカミキリ

(産地) 氷上郡神楽〔4-V-1957, 山本、1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、樺太、朝鮮、満州、東シベリヤ。

14. *Gaurotes* (s. str.) *atripennis* Matsushita n. sp. *anukii* Ohbayashi

大林氏に依り朝鮮、満州、シベリヤに産する *G.* (s. str.) *kozhevenikovi* Plavisteshikov の変種として発表されたが(新昆虫、II, 6, pl. 3, f. 4, nota 4, 1949)その後同氏に依り上記の如く変更された(昆虫評論、X, 1, p. 9, 1959)。原種は東京原産種で従来は *G. kozhevenikovi* の1型と考えられていた。*m. tamanukii* は岐阜、岡山県産のもので記録され本州関東地方以西に産するとして知られている。県下では未記録であったが有馬で一頭採集している。

本種には他に翅鞘金赤紫色で主に東北地方に産する *m. kurosawa* Hayashi、腹部が黄色で翅鞘が金赤色の *m. aureopuropurea* Hayashi が知られている。

(産地) 神戸市有馬(1 Ex., 13-V-1951)

(分布) 日本(本州)

15. *Toxotus minutus reini* Heyden モモグロハナ
カミキリ

山地性の種で氷の山に於いてのみ記録がある。

(産地) 養父郡氷の山〔中根、1953、山本、1954〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

16. *Pidonia puziloi* Solsky フタオビノミハナカミ
キリ

春先可成り産する。基本型と云うのは頭・前胸・上翅が黒く、腹端の2~3節が黄褐色のものをいう。体下面が全体黄褐~赤褐のものを *ab. flaviventris* Bates、頭・胸背は赤褐、上翅は褐色をおびるものを *ab. testacea* Matsushita 等と変化がある。

(産地) 神戸市谷上(4Exs., 29-IV-1958)、氷上郡柏原(1Ex., 10-V-1953)、同郡神楽〔20-V-1953、山本、1958〕、養父郡氷の山(中根、1953、1Ex., 24-VII-1955)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、朝鮮、満州、東シベリヤ。

17. *P. insuturata* Pic ヨコモンヒメハナカミキリ

色彩の変化多く *ab. reducta* Matsushita (上翅側縁の中央及び肩部後方に小黒紋を残す)、*ab. brevinotata* Pic (会合線部の黒条が基本型より退化し特に前半消失す)等が知られている。氷の山に於いて記録がある。

(産地) 館父郡氷の山〔中根、1953〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

18. *P. discoidalis* Pic キベリクロヒメハナカミキリ

基本型は前胸中央部が黒く前後両縁が黄赤褐、上翅は黒く中央部に1対の黄色縦条をもち♀はそれがやや狭い。

♂の上翅の殆んど黒い *f. shikokensis* Chujō et Hayashi、前胸の全く赤い *f. r. uneaka* Tamanuki、上翅黒色部の退化した *f. amagisanus* Hayashi 等が知られている。

県下産は氷の山のみ記録があるが基本型以外は知られていない。

(産地) 養父郡氷の山〔中根、1953〕、氷上郡成松〔山本、1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

19. *P. grallatrix* Bates オオヒメハナカミキリ

本属中最大の種、上翅の黒条は変化がある。氷の山に於いて採集した個体数余り多からず。

(産地) 養父郡氷の山(中根、1953、1♀、12-VII-1955、1♂、27-VII-1956)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

20. *P. miwai* Matsushita ミワヒメハナカミキリ

稀な種で氷の山で採集したのみである。

(産地) 養父郡氷の山(1Ex., 21-VII-1958)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

21. *P. amentata* Bates セスジヒメハナカミキリ

(産地) 氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)

22. *P. signifera* Bates ナカバヒメハナカミキリ

氷の山にては個体数割合多い。

(産地) 養父郡氷の山(10Exs., 24-VII-1955、1Ex., 24-VII-1956)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、東シベリヤ。

23. *P. debilis* Kratatz チャイロヒメハナカミキリ

本種も氷の山にのみ産するが個体数は少ない。

(産地) 養父郡氷の山(3Exs., 24-VII-1955)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、朝鮮、満州、東シベリア。

24. *Anoplodera misella* Bates チャボハナカミキリ

前胸長方形、頭部より中狭く、触角は長く翅端近くに達した第7節以降は平たく圧せられ、上翅は肩部で広く後方に向い急に狭まる。個体数は多くない。

(産地) 宍粟郡音水(1Ex., 21-VI-1959)、養父郡氷の山(中根、1953、3Exs., 27-VII-1956)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、朝鮮、東シベリヤ。

25. *A. scotodes* Bates ツヤケシハナカミキリ

基本型と云うのは♂は黒色、♀は上翅の肩部だけ赤い。♀で全く黒色のものは *ab. n. asculina* Plavilstshikov、上翅赤褐色のものは *ab. niponensis* Pic と云われている。

(産地) 神戸市御影、住吉〔関、1941〕、氷上郡神楽〔山本、1958〕、養父郡氷の山(3Exs., 27-VII-1956、1Ex., 27-VII-1957、2Exs., 21-VII-1958)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、南千島、朝鮮、台湾。

26. *A. dentatipennis* Pic ヒビジロハナカミキリ

黒色、翅端部は弓形に截断され外角は鋭く針状に突出する。氷の山には割合多い。

(産地) 養父郡氷の山(中根、1953、山本、1954、2Exs., 12-VII-1955、6Exs., 27-VII-1956、1Ex., 27-VII-1957、4Exs., 21-VII-1958)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

27. *A. pyrrrha* Bates ヒメアカハナカミキリ

(産地) 養父郡氷の山〔山本、1954〕

(分布) 日本(本州)

28. *A. excavata* Bates ミヤマクロハナカミキリ

稀な種である。

(産地) 養父郡氷の山(1Ex., 21-VII-1958)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

29. *Allosterna tabacicolor* De Geer ホクチチピカ
ミキリ

(産地) 養父郡氷の山〔高橋、1959〕

(分布) 日本(北海道、本州)南千島、樺太、朝鮮、
満洲、シベリア、欧州。

30. *Encylops olivaceus* Bates テツイロハナカミキリ

(産地) 氷上郡市島〔VII-1957, 山本、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州)

31. *Judolia cometes* Bates マルガタハナカミキリ

個体数余り多くない。県中央部より北部にかけて産する。

(産地) 朝来郡生野(1♀, 8-VII-1956)、氷上郡
神楽、佐治〔山本、1958〕、養父郡熊次村〔奥谷、1955〕
氷の山(山本、1954, 1♂, 21-VII-1956, 4 Exs., 27-
VII-1957, 1 Ex., 21-VII-1958)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、南千島。

32. *Leptura rubra dichroa* Blanchard アカハナカ
ミキリ

従来本種は *L. succedanea* Lewis としてヨーロッパ
中北部に分布する *L. rubra* Linné とは別種と考えられて
いたが最近 Gressitt 氏に依り(1951) *succedanea* を
支那に分布する *L. dichroa* Blanchard の synonym と
し且 *dichroa rubra* の亜種とされた。其れ故本種は2つ
の亜種に別けられる。即ち *L. rubra rubra* Linné は中
北ヨーロッパ、西シベリア(バイカル以西)北西支那、
北アフリカ、北アメリカ(アイオワ)に分布し、*L. ru-*
bra dichroa Blanchard の方は日本、樺太、朝鮮、中
国東北、東シベリヤに分布する。

エゾマツ、トドマツの伐採木、枯木に寄生すると知ら
れているが県下では個体数少い。

本種の口器、腹部及び生殖器の構造に就いては西尾氏
の両亜種に関する地理的分布と共に詳しく述べられてお
り(昆虫、XXIV, 2, pp. 97~101, 1956)、感覚器に
就いては中根氏(西京大学学術報告、1, p. 192, 1954⁴)
、江原氏(Journ. Facul. Scien. Hokkaido Univ. Zool.
Vol. 12, p. 75, 1954)の報文があり幼虫に就いても西
尾氏の報告がある(昆虫界、XI, 115, pp. 464~467,
1943)。

(産地) 氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山(中根、
1953, 1 Ex., 25-VII-1955, 石田)

33. *L. arcuata tsumagurohana* Ohbayashi

ツマグロハナカミキリ

普通に産する種である。

従来本種は *Strangalia tenuicornis* Motschulsky 及
び *S. arcuata tenuicornis* Motschulsky 等と称されて
いたものであるが大林一夫氏の研究(昆虫学評論、VI,
8/9, pp. 59~62, 1955)により *S. tenuicornis* はツマ

グロハナカミキリと云われていた種とは全く異り *S. ny-*
mphula か *S. shikokensis* のどちらかであろうとのこ
と。而してツマグロハナカミキリについては *L. arcua-*
ta Panzer の亜種として原種とは翅鞘の第1乃至第3黒
紋が消失して一様に黒褐色となり、全面に黄色毛を密
生、翅端のみ黒色を呈することによつて区別されるとし
て *tsumagurohana* と命名された。

本種の幼虫に就いて中根氏の報文がある(生態昆虫、
I, 2/3 pp. 55~58, 1946)

(産地) 川西市多田(1 Ex., 18-V-1952)、神戸市
御影、住吉〔関、1941〕、鳥原(1 Ex., 2-V-1954、
1 Ex., 10-VI-1956)、山の街(1 Ex., 5-VI-1949)、
箕谷(1 Ex., 22-V-1949)、丹生山(1 Ex., 5-V-
1956)、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山(3 Exs.,
27-VII-1956)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

34. *L. arcuata f. mimica* Bates ヤツボシハナカミ
キリ

原種とは上翅肩部の弓形状が肩部の内側でとまり側縁
にまでのびない点で区別されたもの。黒化したものが多
く幾つかの異常型が記録されている。氷の山にての記録
がある。

(産地) 養父郡氷の山〔山本、1954〕

(分布) 日本(北海道、本州)、南千島、樺太。

35. *L. anaspidooides* Bates ベニバハナカミキリ

稀のようである。

(産地) 神戸市魚崎〔関、1941〕、山の街(1 Ex., 1-
VI-1958)、宍粟郡音水(1 Ex., 21-VI-1959)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

36. *L. aethiops dimorpha* Bates クロハナカミキリ

原種とは前背板が赤い外(♀)、♀♀ 共前背板が中高
で巾広く、点刻が疎らで浅い点で区別される。原種は♀
♀ 共全体黒色のもので旧北地方北部に広がる外、北海道
本州(中部地方以北)、千島、樺太に産する。

普通に産する。関氏はクビアカハナカミキリ異常型と
云うのを記録されているが(*Gaurotes thalassina* Sch-
rank ab. *violacea* De Geer)、此の種は樺太、朝鮮、満
洲、北蒙古、東シベリヤに産する種なので神戸に産する
のは別の種ではないかと考えられ或いは本種の事である
かもしれない。

(産地) 川西市多田(1♀, 18-V-1952)、神戸市
御影〔関、1941〕、六甲山(1♀, 1-VII-1955)、布引
(1 Ex., 17-V-1959)、山の街(1♂, 2♀♀, 22-
V-1949, 1♂, 5-VI-1949, 2♂♂, 12-V-1950,
1♂, 1♀, 28-V-1950, 2♂♂, 17-V-1953, 5
1♂, 1-V-1953, 1♂, 5-V-1954, 1♂, 16-V-
1954, 2 Exs., 10-V-1969)、箕谷(1♂, 1♀, 22

—V—1949)、氷上郡〔山本、1958〕、宍粟郡音水 (1 Ex., 21—VII—1959)、養父郡氷の山〔高橋、1959〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、東シベリヤ。

37. *L. ochraceofasciata* Motschulsky ヨスジハナカミキリ

普通に産する、やや北部方面に多い。

(産地) 川西市一の鳥居 (4 Exs., 22—VI—1952)、神戸市六甲山 (1 Ex., 1—VII—1955)、朝来郡生野 (1 Ex., 8—VII—1956)、氷上郡〔山本、1958〕、宍粟郡音水 (9 Exs., 13—VII—1958)、養父郡氷の山 (2 Exs., 12—VII—1955, 2 Exs., 25—VII—1955, 12 Exs., 27—VII—1956, 25 Exs., 27—VII—1957, 18 Exs., 21—VII—1958)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、南千島。

38. *L. ergalis* Bates オオヨスジハナカミキリ

エゾマツ、トドマツ、アカエゾマツ、ツガ、アカマツ等の伐採木の腐朽部に産卵、幼虫はこれに寄生する。♂に黒化の傾向が強い。個体数は余り多くない。

(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山 (2 ♂♂, 25—VII—1955, 1 ♂, 27—VII—1956)、美方郡湯村 (1 ♂, 27—VII—1952)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮。

39. *L. vicaria* Bates フタスジハナカミキリ

宍粟郡音水にて採集した。北部山地には産すると思われるが稀な種である。

(産地) 宍粟郡音水 (1 Ex., 20—VI—1959)

(分布) 日本(北海道、本州、四国)

40. *Strangalia contracta* Bates ミヤマホソハナカミキリ

氷の山に産するがそれ程多くない。所謂 *f. unilinea-tocollis* Ohbayashi と云うのを産する。

(産地) 宍粟郡音水 (1 Ex., 13—VII—1958)、養父郡氷の山 (中根、1953, 4 ♂♂, 27—VII—1956)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、台湾、支那東部。

41. *S. nymphula* Bates ニソフホソハナカミキリ

摩耶山頂付近には六月頃少くないとの事である、氷の山には多産する。

(産地) 神戸市摩耶山〔柴内、中畔、1950〕、養父郡氷の山 (中根、1953, 山本、1954, 30 Exs., 27—VII—1956, 1 Ex., 27—VII—1957, 8 Exs., 21—VII—1958)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)

42. *S. lesnei* Pic ニヨウホウホソハナカミキリ

前種に似る、個体数は少いが氷の山に産する。

(産地) 養父郡氷の山 (1 ♀, 27—VII—1956, 1 Ex., 27—VII—1957)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

43. *S. hosohana* Ohbayashi ホソハナカミキリ

(産地) 養父郡氷の山〔高橋、1956〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

44. *S. dulcis* Bates ジャコウハナカミキリ

(産地) 氷上郡石戸山〔山本、1957〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

45. *Coronnys sericata* Bates キヌツヤハナカミキリ

氷の山で花に来ているのを採集した、少い種である。

(産地) 美方郡氷の山 (2 Exs., 27—VII—1956, 2 Exs., 21—VII—1958)

(分布) 日本(北海道、本州、四国)、北支。

Subfamily Cerambycinae かみきり亜科

46. *Thranium variegatus* Bates トラフホソバネカミキリ

関氏の記録があるが産地が記されていないので全くわからない。

(産地) 兵庫県〔関、1941〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)

47. *Pyrestes haematicus* Pascoe クスベニカミキリ

氷の山では花に来ていたが一般にはクスノキ、ニッケイ、タブノキ、シロモジ等の枝の端に産卵、幼虫は漸次下に向い食害、大枝に入り、秋には其の枝を枯死させ、翌年5月蛹化、しばらくの後成虫となり外部に出る。

個体数は少い。

(産地) 神戸市須磨〔関、1941〕、山の街 (1 Ex., 1—VI—1958)、多紀郡城東〔1 Ex., 1—VIII—1956, 井関正政〕、養父郡氷の山 (3 Exs., 25—VII—1955, 2 Exs., 27—VII—1957)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、朝鮮、北支。

48. *Erythrus congruus* Pascoe ムネコブウスバネベニカミキリ

Bates に依る兵庫の記録があるのみで産出状況に就いてはわからない。

(産地) 兵庫〔Bates〕

(分布) 日本(本州)、台湾、南支、香港。

49. *Criocephalus rusticus* Linné サビカミキリ

個体数は多くない様である。関氏に依り六甲山ケール山上駅や阪急テント村等で採集されている。

(産地) 神戸市摩耶山〔Bates, 1873〕、六甲山〔関、1936, 1941〕、住吉〔関、1941〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、千島、朝鮮、満州、シベリヤ、コーカサス、ヨーロッパ。

50. *Xystrocera globosa* Olivier アオスジカミキリ

比較的個体数は少い、電燈に飛来する。

(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、鳥原 (1 Ex., 22—VII—1950, 1 Ex., 12—VII—1956)、洲本市安乎町〔10—VII—1950, 5—VII—1951, 堀田、1958〕、氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、朝鮮、支那、エジプト、ハワイ。

51. *Mallambyx raddei* Blessig ヤマカミキリ

幼虫はクリ、シナグリ、アラカシ、ケヤキ、クスギ、ミズナラ、カシワ、コナラ、ツブラシイ、イチジク、クワ類、リンゴ、キリの樹幹の材部を加害する。戦前神戸電鉄沿線大池のクスギ林に多産したが戦後は少くなった。

(産地) 神戸市御影〔関、1941〕、鳥原(1 Ex., 12—VII—1956)、洲本市安乎町〔29—VII—1951〕、由良町〔1—VIII—1951、堀田、1958〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡大久保(1 Ex., 25—VII—1955)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、朝鮮、満州、東シベリヤ、北~中支。

52. *Margites fulvidus* Pascoe キイロミヤマカミキリ

関氏の記録がある。

(産地) 神戸市本山〔関、1941〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、琉球、台湾、支那、雲南。

53. *Pseudaolesthes chrysothrix* Bates キマダラカミキリ

(産地) 洲本先山〔30—VII—1948、堀田、1958〕、氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、南支。

54. *Chloridolum thaliodes* Bates オオアオカミキリ

美しい緑色のカミキリ、幼虫はハルニレ、ヤナギ類、ドロノキ等の樹幹を加害する事が知られている。古くBates氏の記録はあるが少い種である。

(産地) 神戸〔Bates, 1884〕、御影〔21—V—1939、福井、1943〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、南満。

55. *Chelidonium quadricolle* Bates アオカミキリ

前種によく似る。♂触角は端翅を僅かにこえ、♂の後腿節は腹端に達し後跗第一節は後統節の合計より短い。藤田氏に依ると宝塚に多産すると。

(産地) 宝塚(1 ♂, 1 ♀, 10—VI—1956、藤田)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮。

56. *Leontium viride* Thomson ミドリカミキリ

普通に得られる種である。神戸は古くBates氏に依り *Callichroma* (*Chloridolum*) *tenuatum* Bates として記録されている。

(産地) 神戸市住吉、御影、六甲山〔関、1941〕、山の街(1 ♂, 22—V—1949, 1 ♂, 5—VI—1949)、氷上郡〔山本、1958〕、洲本市安乎町〔18—VI—1947, 30—VI—1947、堀田、1958〕、養父郡水の山(中根、1953, 1 ♂, 1 ♀, 24—VII—1955, 1 ♂, 27—VII—1956, 7 Ex

s., 27—VII—1957, 2 Exs., 21—VII—1958)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、南千島、朝鮮、北支、中支。

57. *Rosalia batesi* Harold ルリボンカミキリ

非常に美しい、体は青色の微毛で被われ黒斑紋を有する。関氏は産地を記さずに記録されている、音水原始林、水の山、扇の山に産するが珍しい種である。

(産地) 宋栗郡音水(1958、後藤、藤田)、養父郡水の山(2 Exs., 25—VII—1955, 石田、1 ♂, 27—VII—1956, 1 ♂, 25—VII—1959)、美方郡扇の山〔奥谷、1954、山本、1954〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)

58. *Semanotus japonicus* Lacordaire スギカミキリ

(産地) 神戸市摩耶山〔Bates, 1872〕、御影〔関、1941〕、氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

59. *Callidium rufipenne* Motschulsky ヒススギカミキリ

極めて普通に産する。色彩変化多く色々の異常型が記されているが♂で全く青紫色の *ab. metallipenne* Pic, 肩丈少し赤い *ab. bicoloratum* Pic 等は原型上翅赤色のものに混じて得られる。

(産地) 神戸市御影、住吉〔関、1941〕、鳥原(1 ♂, 7—V—1953)、山の街(1 ♂, 3—V—1951, 2 ♀♀, 5—V—1955, 2 Exs., 29—IV—1957)、丹生山(9 ♂♂, 7 ♀♀, 15—V—1955)、谷上(20 Exs., 29—IV—1958) 須磨〔XII—1943、佐々木、1948〕、洲本市安乎町〔15—IV—1947、堀田、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、朝鮮、琉球、台湾。

60. *Phymatodes quadrimaculatus* Gressitt ヨツボシヒラタカミキリ

Gressitt氏が播磨産の標本で以つて新種として発表された種(Kontyu, IX, 4, p. 172, 1935)、谷上にて採種したが少い種であると考えられる。

(産地) Harima, Hyogo Prefec., May., 1916, E.

C. Van Dyke Collection〔Gressitt, 1935〕、神戸市谷上(1 Ex., 20—IV—1958、久松氏同定)

(分布) 日本(本州)

61. *Phynatodes maaki* Kraatz アカネカミキリ

(産地) 神戸市本山〔関、1941〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、アムール。

62. *Xylotrechus chinensis* Chevrolat トラフカミキリ

桑畑に普通に見られる。生態並びに幼虫については中村氏の報文がある(ニューエントモロジスト、1956)

(産地) 神戸市六甲山、御影、住吉〔関、1941〕、洲本市安乎町〔14—Ⅶ—1946、堀田、1958〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山(2 Exs., 27—Ⅶ—1956, 1 Ex., 27—Ⅶ—1957)、美方郡湯村(8 Exs., 27—Ⅶ—1952)
(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、〔沖繩、朝鮮、満州、北・中支、台湾。〕

63. *X. pyrrhoderus* Bates ブドウトラカミキリ
(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山〔高橋、1958〕
(分布) 日本(本州、四国、九州)

64. *X. rufilius* Bates クビアカトラカミキリ
(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、城崎郡香住〔1959〕
(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、満州。

65. *X. cuneipennis* Kraatz ウスイロトラカミキリ
音水原始林、氷の山、扇の山には普通に産するが他の地では少いようである。

(産地) 宍粟郡音水(2 Exs., 13—Ⅶ—1958)、養父郡氷の山(山本、1954, 3 Exs., 25—Ⅶ—1955, 6 Exs., 21—Ⅶ—1958)、美方郡扇の山〔奥谷、1954〕
(分布) 日本(本州、四国、九州)

66. *X. emaciatius* Bates ニイジマトラカミキリ
前種に混じて産する。

(産地) 宍粟郡音水(1 Ex., 13—Ⅶ—1958)、養父郡氷の山(山本、1954, 2 Exs., 25—Ⅶ—1955, 2 Exs., 27—Ⅶ—1956, 1 Ex., 27—Ⅶ—1957, 3 Exs., 21—Ⅶ—1958)、美方郡扇の山〔奥谷、1954〕
(分布) 日本(本州、四国、九州)

67. *X. clarinus* Bates ツマキトラカミキリ
(産地) 氷上郡〔山本、1958〕
(分布) 日本(北海道、本州、四国)、樺太、朝鮮、満州。

68. *Cyrtoclytus caproides* Bates キスジトラカミキリ
個体数多からず。
(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、氷上郡〔山本、1958〕、養父郡氷の山(2 Exs., 27—Ⅶ—1956)
(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、樺太、朝鮮、満州。

69. *Brachyclytus singularis* Kraatz アカネトラカミキリ
本種も個体数は少い。
(産地) 神戸市御影〔関、1935〕、山の街(1 Ex., 20—Ⅳ—1958)
(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、東シベリヤ、中支。

70. *Plagionotus christophi* Kraatz クリストフコトラカミキリ
香住で採集された記録がある(新しい昆虫採集、p. 410, 1959)

(産地) 城崎郡香住〔1959〕
(分布) 日本(本州、九州)、東シベリヤ、朝鮮、満州、北～中支。

71. *Chlorophorus annularis* Fabricius タケトラカミキリ
普通種。

(産地) 神戸市御影、住吉、六甲山〔関、1941〕、布引、鳥原、山の街、宝塚市武田尾、氷上郡〔山本、1959〕、洲本市安乎町〔堀田、1958〕
(分布) 日本(本州、四国、九州)、小笠原、琉球、満洲、印度、ニューギニア。

72. *C. diadema inhirsutus* Matsushita クロトラカミキリ
原種はシベリヤ、北支、満洲、朝鮮に分布し多くの変種や型を産し、本型は原種より一般に大形で上翅の灰色帯がはるかに巾広く基部の灰弧紋がふつうの縁紋と連結し、前背板の黒紋が縮少しふつう中央の大紋とその両側中央の小紋とは分れている。少い種である。

(産地) 養父郡氷の山(山本、1954, 3 Exs., 25—Ⅶ—1955, 1 Ex., 27—Ⅶ—1956, 1 Ex., 27—Ⅶ—1957, 4 Exs., 21—Ⅶ—1958)、洲本市安乎町〔25—Ⅶ—1947、堀田、1958〕
(分布) 日本(本州、四国)

73. *C. japonicus* Fabricius エグリトラカミキリ
前種に似るが前胸は長毛を多く生じ、翅端には外角に鋭い刺をもつ。上翅の黒色斑紋の第1・2紋の消失したものについて関、巖両氏は芦屋産1♀をもつて *ab. ashiyensis* Seki et Iwao と命名された。種々な花上、薪材等集る。

幼虫及び蛹に就いては中村氏(ニューエントモロジスト、1955)、藤村氏(昆虫評論、1955)、尾藤氏(生態昆虫、1956)等の報文がある。

(産地) 芦屋市〔関、巖、1945〕、神戸市御影〔関、1941〕摩耶山〔林、1951〕、二十渉、鳥原、山の街、丹生山、谷上、洲本市安乎町〔堀田、1958〕、宍粟郡音水、朝来郡生野、養父郡氷の山。

(分布) 日本(本州、四国、九州)

74. *C. muscosus* Bates フタオビミドリカミキリ
海洋気候性の種として本州海岸沿に分布し北限は飛鳥(山形県)との事である。音水原始林及び氷の山に可成り産する。尤も原記載は Bates氏に依り兵庫産3♀にてであり(Ann. Mag. Nat. Hist., (4) XII, p. 198, 1873)、柴内、中畔両氏は青谷付近での産を記録され、関氏は産

地未記のまま記録されている。

(産地) 兵庫〔3♀♀, Bates, 1873〕〔関, 1950〕、神戸市青谷〔柴内、中畔、1950〕、宍粟郡音水(3 Exs., 13—VII—1958)、養父郡氷の山(中根、1953, 2 Exs., 21—VII—1958)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、奄美大島、朝鮮

75. *C. notabilis* Pascoe キイロトラカミキリ

薪材に普通に産す。幼虫、蛹に就いては西川氏(昆虫界, X, 101, pp. 480~483, 1942)及び中村氏(ニューエントモロジスト, 1955)の報文がある。

(産地) 神戸市六甲、御影〔関, 1941〕、山の街、氷上郡〔山本、1958〕、宍粟郡音水、養父郡氷の山。

(分布) 日本(本州、四国)、支那。

76. *C. quinquefasciatus* Castelnau et Gory ヨツスジトラカミキリ

本種も海洋気候性の種と云われている、淡路島には可成り産するようである。

(産地) 神戸市六甲、住吉〔関, 1935, 1941〕、津名郡岩屋(2 Exs., 3—VIII—1957)、洲本市安乎町〔21—VII—1946〕、三熊山〔25—VII—1952, 堀田, 1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、奄美大島、琉球、朝鮮。

77. *Rhaphuma diminuta* Bates ヒメクロトラカミキリ

早春カエデの花に集る小形種、山地の粗朶にも集る。

(産地) 神戸市御影〔関, 1935, 1941〕、山の街(2 Exs., 17—V—1953, 1 Ex., 1—VI—1958)、氷上郡〔山本, 1958〕、宍粟郡音水(1 Ex., 21—VI—1959)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、東シベリヤ。

78. *R. xenisco* Bates ホソトラカミキリ

(産地) 養父郡氷の山〔高橋, 1959〕

(分布) 日本(本州、四国、北海道)

79. *Demonax transilis* Bates トゲヒゲトラカミキリ

東洋地方系の属 *Demonax* に属し触角は互に接近してつく、第3節端には刺を有す。個体数多からず。

(産地) 神戸市住吉〔関, 1935, 1941〕、六甲山(1 Ex., 8—V—1955)、丹生山(2 Exs., 29—IV—1958)、谷上(1 Ex., 3—V—1957, 2 Exs., 25—V—1958)、氷上郡〔山本, 1958〕、養父郡氷の山〔中根, 1953〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)。

80. *Clytus melaenus* Bates シラケトラカミキリ

少い種である。

(産地) 氷上郡神楽〔山本, 1958〕、養父郡氷の山(1 Ex., 27—VII—1956)

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮。

81. *Anaglyptus subfasciatus* Pic スギノアカネトラカミキリ

本種も少い種である。

(産地) 神戸市御影〔関, 1941〕、丹生山(1♀5—V—1956)

(分布) 日本(本州、九州)

82. *A. matsushitai* Hayashi マツシタトラカミキリ

(産地) 氷上郡神楽〔山本, 1958〕、養父郡氷の山〔高橋, 1959〕

(分布) 日本(本州、九州)

83. *Allotraeus asiaticus* Schwarzer アジアトビイロカミキリ

本種は大林一夫氏が *Nysina japonica* として記載されたもの(Trans. Kansai Ent. Soc. No. 7, pp. 13~14, pl. II, f. 5, 1936)と同一種として関氏に依り西宮より記録された(昆虫世界, XLII, 504, pp. 233~234, 1939)

(産地) 西宮市〔VII—1936, 関, 1939〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)、琉球、台湾、トンキン。

84. *A. sphaerioninus* Bates トビイロカミキリ

(産地) 氷上郡〔山本, 1958〕

(分布) 日本(本州、四国、九州)

85. *Stenygrinum quadrinotatum* Bates ヨツボンカミキリ

クリ、クスギ、コナラ等の花に集り、また夜燈火に来る。

(産地) 神戸市六甲山、御影、住吉〔関, 1941〕、宝塚〔林, 1955〕、氷上郡〔山本, 1958〕、佐用郡久崎。

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、満洲、支那、アツサム、マニプール、ビルマ。

86. *Ceresium japonicum* Matsushita ヤマトヒメカミキリ

(産地) 宝塚市〔VI—1935, 林, 1955〕

(分布) 日本(本州、九州)

87. *C. holophaeum* Bates ヨコヤマヒメカミキリ

(産地) 兵庫〔Bates, 1873〕、宝塚市〔林, 1955〕、神戸市本山〔関, 1941〕

(分布) 日本(北海道、本州、九州)、沖縄本島。

88. *Stenodryas clavigera* Bates アメイロカミキリ

個体数少し。

(産地) 兵庫〔Bates, 1873〕、神戸市山の街(3 Exs., 1—VI—1958)、多井畑〔関, 1941〕、養父郡氷の山(1 Ex., 27—VII—1957)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、台湾。

89. *Stenomalus cleroides* Bates ニセアリモドキカミキリ

(産地) 神戸市摩耶山〔林、1955〕、氷上郡春日部〔山本、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、琉球。

90. *S. taiwanus* Matsushita タイワンアリモドキカミキリ

前種に似るが斑紋が異なる、少い種である。

(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、山の街〔1 Ex., 17-V-1953〕

(分布) 日本(本州、四国)、台湾。

91. *Dere thoracica* White ホタルカミキリ
普通種。

(産地) 神戸市御影〔関、1941〕、六甲山、山の街、太山寺、有馬郡広野、氷上郡〔山本、1958〕、佐用郡上月、久崎町、宍粟郡音水、養父郡氷の山。

(分布) 日本(本州、四国、九州)、朝鮮、济州島、台湾、支那。

92. *Purpuricenens temmincki* Guérin-Ménéville
ベニカミキリ

普通種、

(産地) 神戸市六甲山〔関、1941〕、山の街、鳥原、丹生山、佐用郡上月、氷上郡〔山本、1958〕、洲本市安

乎町〔堀田、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、支那。

93. *P. spectabilis* Motschulsky ヘリグロベニカミキリ

普通種、前種よりやや少い。

(産地) 神戸〔Bates, 1884〕、六甲、御影、本山〔関、1941〕、山の街、津名郡岩屋、洲本市安乎町〔堀田、1958〕、氷上郡〔山本、1958〕

(分布) 日本(北海道、本州、四国、九州)、朝鮮、支那。

94. *Molorchus (Linomius) japonicus* Hayashi

ヤマトヒゲナガコバネカミキリ

本種は林氏に依り大阪府三島郡清滝村久安寺産1♀に依り記録されたものであり其の後同氏に依り神戸市摩耶山産の1♀が報ぜられた。

(産地) 神戸市摩耶山〔1♀, 21-VI-1948, 巖、林、1949〕

(分布) 日本(本州)

(K-1960)